

豊田市本多記念民芸の森 市民文化講座

青佳談義－第13回－ 「猿投古窯と中世陶器への影響」

日 時：令和7年3月1日(土) 午後2時～3時30分

講 師：永田 悠記 氏（豊田市博物館学芸員）

内 容：本多静雄氏が発見した猿投窯は、常滑窯や瀬戸窯の成立に影響を与え、常滑窯は信楽窯や越前窯の成立にも関わっており、本多氏の発見は中世陶器史上重大な業績である。
豊田市の遺跡を中心に、猿投窯から瀬戸窯等への影響を概観する。

会 場：平戸橋いこいの広場 1階 多目的室（豊田市平戸橋町波岩10番地）

定 員：先着30名

参加費：無料 事前申し込み不要につき、当日直接会場へお越しください。

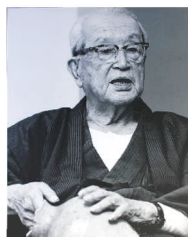


永田 悠記 氏 プロフィール

大学・大学院で中世陶磁器の研究を行う
2020年に豊田市役所入庁、文化財課で埋蔵文化財業務に従事、2024年より現職

青佳談義とは、本多静雄氏のゆかりの方々や地域の方から話を聞き、本多氏の功績や人柄、エピソードを後世に伝えていくとともに地域に埋もれた歴史を再発見する講座です。

※「青佳」とは、本多静雄氏が名の「静」の偏・「青」と「雄」の旁・「佳」をとって雅号として使用していたものです。



本多 静雄 氏（1898～1999）

古陶磁研究家・科学技術者・実業家、豊田市名誉市民
日本で初めて施釉陶器を焼成した猿投窯の発見者
豊田市民芸館の設立に貢献
杉本美術館の初代館長に就任
1999年102歳で永眠

豊田市本多記念民芸の森

〒470-0331 豊田市平戸橋町石平 60-1 Tel：0565-46-0001 Eメール：mingeinomori@city.toyota.aichi.jp

共催：NPO 法人 民芸の森倶楽部